

22地球研総第72-1号
平成 22年 6月 18日

各大学・機関 御中

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所長 立本 成文
(公 印 省 略)

総合地球環境学研究所 研究推進戦略センター
特任准教授又は特任助教の公募について (依頼)

拝啓

時下、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本研究所 研究推進戦略センターでは特任准教授又は特任助教を下記の要領で公募することになりました。

つきましては、貴学(部)または貴機関の関係各位にご周知くださいますようお願い致します。

敬具

記

1. 所属・職種及び人数

研究推進戦略センター・特任准教授又は特任助教 3名以内

2. 任期:着任日から平成28年3月31日まで

※大学共同利用機関法人人間文化研究機構特定有期雇用職員規程
及び総合地球環境学研究所特定有期雇用職員規則による。

3. 職務内容

研究推進戦略センター研究戦略策定部門の基幹研究ハブにおいて、未来設計イニシアティブとして推進される①風水土イニシアティブ、②山野河海イニシアティブ、③生存知イニシアティブに関する職務。

研究推進戦略センター戦略策定部門に置かれた基幹研究ハブに配置され、未来設計イニシアティブ(上記の①②③)の一つを主に担当する。他のイニシアティブ及び他部門の業務と密接に連携しつつ、職務を遂行することになる。

なお、当研究所の設立趣旨及び目的、並びに基幹研究ハブ及び未来設計イニシアティブにつきましては、ホームページ (<http://www.chikyu.ac.jp/>) を参照されたい。

4. 応募条件

地球環境学に幅広い関心を有し、原則として博士の学位を有すること。

また、地球環境学を構成する既存の学問分野を基礎としつつも、その枠を超えて、真に総合地球環境学の構築にむけての研究を遂行する強い意思を有し、未来設計イニシアティブの活動の中核となる地球環境に関する研究動向の調査分析、研究課題の設定と研究手法の開発、さらに複数の研究プロジェクトの成果の集約を進める能力を有すること。

[参考]

未来設計イニシアティブは、地球研の第二期中期目標・中期計画期間における研究展開の根幹を担うものであり、認識科学を中心におく地球環境の現在の「ある姿」の解明にとどまらず、設計科学を軸とする地球環境の未来の「あるべき姿」の探求に向けての研究の枠組と方向を考究することを目的とする。具体的には、研究部を中心にして実施される研究プロジェクトの、企画から遂行及び成果の発信に至る全活動を構想・調整し、それに必要な調査と情報収集を行う。

現在置かれている3つのイニシアティブの当面の目標と課題は以下のとおりである。

①風水土イニシアティブ

気候変動、水循環変動、土壌保全、資源管理などに関わる問題に対して、大気・水・土地とその利用や管理を中心とする地域や地球の自然と文化や、これらが調和した物質の循環と保存のあり方を統合的に理解し、解決への道筋を探求する。地球を広く俯瞰しながら、地域の自然と文化に根ざした資源や物質を総合的に管理する手法の開発をめざす。なお、必要に応じて、この理解と探求の基礎となる、さまざまな時空間情報（各種の衛星・リモートセンシング情報、安定同位体トレーサビリティなどを含む）を活用する手法の整備も行う。

②山野河海イニシアティブ

生物多様性の喪失、生物を中心とする天然資源の枯渇や利益分配の不均等などのいわゆる「生態系サービス」に関わる問題に対して、生態系の特性と多様な利害関係者の関係や協治のあり方を統合的に理解し、解決への道筋を探求する。多様な人間と自然とのあり方の理解を越えて、地球環境のあるべき姿の重要な要件である人間の福利向上までも視程に入れることをめざす。なお、必要に応じて、この理解と探求の基礎となる、生態系や人間社会に関するフィールドワークを実施し、その成果を総合的に評価する手法の整備も行う。

③生存知イニシアティブ

衛生や健康・疾病の問題など生活と生産の基本的な問題や、食の安全や衣食住を支える農林水産業など生業と環境の問題に対して、さまざまな文化的背景における人としての生や健康のあり方や、いのちや暮らしを支える衣食住のあり方を統合的に理解し、解決への道筋を探求する。地球環境のあるべき姿を実現するための知の統合化の具体的な手法を提示することをめざす。なお、必要に応じて、この理解と探求の基礎となる、さまざまな地域の文化や歴史の背景を分析し記述する手法の整備も行う。

5. 着任時期日

平成22年10月1日以降（予定）

6. 応募期限

平成22年7月23日（金）午後5時（必着）

7. 労働条件

①給 与：年俸制（人間文化研究機構特定有期雇用職員規程に定めるところによる）

②勤務形態：始業8時30分、終業17時を基本とする裁量労働制

③休 日：土・日曜日、祝日、年末・年始（12月29日から1月3日まで）

④そ の 他：文部科学省共済組合、雇用保険に加入

8. 提出書類 [書類は英語でもよい]（原則としてA4版用紙に横書きとし、それぞれ別葉として各葉に氏名を記入してください）

職務内容については、「3. 職務内容」に記した3つの未来設計イニシアティブ（①②③）の内で

主に担当を希望するイニシアティブを明記したうえで記述すること。

①履歴書（写真貼付）

②研究業績リスト（共著による論文、刊行物等については、共著者等を全て記入してください。様式は任意）

③研究業績資料（主要な論文、刊行物等を5点程度提出してください）

④職務内容に関するこれまでの研究等の経験と実績（上記の応募条件を満たすことも含めて記載して下さい。2,000字程度、英文の場合はA4版用紙2枚以内、様式は任意）

⑤職務内容への抱負（2,000字程度、英文の場合はA4版用紙2枚以内、様式は任意）

⑥応募者について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先（電話、Fax及びE-mailアドレス）

※上記の提出書類はA4版横書きとし、それぞれ別様式として各様に氏名を記入してください。なお、提出いただいた書類は原則返却しませんが、③の業績資料について特に返却の希望がある場合には、②業績リスト末尾にその旨明記していただければ返却いたします。

※応募書類は当該選考委員会の審査資料としてのみ使用するもので、他の使用は一切ございません。

9. 選考方法

提出書類により審査します。書類審査の結果によって、必要に応じて面接を8月下旬に実施します。なお、面接を実施した場合、旅費などは当方では準備いたしませんので、ご承知おき下さい。

10. 書類提出先

①宛先：総合地球環境学研究所 所長 立本成文 宛

②書類送付先：総合地球環境学研究所 管理部総務課人事係 宛
（〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457-4）

※封筒表面に必ず「研究教育職員（基幹研究ハブ）応募書類」と朱書の上、簡易書留郵便にて送付して下さい。

11. 問い合わせ先

総合地球環境学研究所 研究教育職員人事委員会

電話：075-707-2100 [総合地球環境学研究所代表] e-mail：kikanhabu@chikyu.ac.jp

（担当 佐藤洋一郎教授・渡邊紹裕教授）

以上